

1. 福岡県学力実態調査の結果

国語

国語は、福岡県平均をやや上回っていました。「話すこと・聞くこと」では、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことの内容を捉える問題がよくできていました。また、「知識・技能」では、漢字を読んだり書いたりする問題もよくできています。一方で、「知識・技能」の接続詞を使って文章を書くことに課題があります。これは、文章を読んだり書いたりする機会が減っていることが原因であると考えます。

算数

算数は、福岡県平均を上回っていました。特に「数と計算」では、基礎的な計算問題はよくできていました。また、「図形」の平行四辺形の対角線についてもよく理解していました。一方で、「データの活用」では、折れ線グラフを正しく読むことに課題が見られました。これは、2つの折れ線グラフの関係が読み取れていないことが原因であると考えます。

2. 今後の取り組み、ご家庭へのお願い

- ◆国語の結果から見える課題は、基本的な接続詞とその使い方を十分に理解できていないことです。課題解決のために、文章をたくさん読んだり、書いたりする場面を増やしていきます。
- ◆算数の結果から見える課題は、データの読み取りです。課題解決のために複数データからの読み取りをする場面を増やしていきます。

○ご家庭へのお願い

「自分のよいところがわかる」といった**自尊感情**、「平日の家庭学習時間の確保」「自分で計画を立てて家庭学習をする」といった**家庭学習習慣の定着**は、学力の定着と関係が深い、ということが全国調査からわかっています。実は、本校は、この二つの項目が例年、全国と比べて低い傾向にあります。

そこで、保護者の皆様に次の点についてご協力をお願いします。

① 自尊感情を高めるため

- ・「親子ふれあいデー」などを活用して、お子さんのいいところをたくさん伝え、ほめてください。
- ・子どもが自分で目標を決めて、そこに向けてコツコツがんばり、達成感を味わうことができるようご家庭でも働きかけてください。

② 家庭学習習慣を定着させるために

- ・学年×10分+10分、家庭で机につくようにさせてください（塾や家庭教師も含む）。
(例) 5年生の場合 $5 \times 10 + 10 = 60$ 分
- ・上記の時間は、宿題をする時間も含まれます。したがって、宿題が早く終わった場合、自分で決めた課題に取り組むよう、学校でも指導しますので、ご家庭でもお声かけください。
- ・チャレンジウィークは、「自分で計画を立てて家庭学習をする」よい機会です。チャレンジウィークの取り組みが、お子さんの家庭学習習慣の定着につながるよう、働きかけをお願いします。